

内部評価結果調査（施策評価 8）

施策名	適正な土地利用の推進
-----	------------

担当部局	担当部局長の氏名
建設部	大村 隆

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	VI うるおい安全都市						
計画項目	(施策)	① 適正な土地利用の推進						
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	適切な市街地形成を図るべき都市的な土地利用と、農村的土地利用及び山村的な土地利用が調和したまちづくりを推進するため「京丹後市まちづくり計画(都市計画マスタープラン)」を策定し、都市計画区域の見直しをはじめ土地利用の適正な規制・誘導を図る。また、都市としての魅力を高め、市民生活の利便性向上を図るため公園や街路の整備を進める。						
めざす目標	適切な市街地の形成を図ります	指標名	総合計画策定時(H17)	前期基本計画最終実績値	目標			
		街路の整備率	28.5%	H15	34.8%	H21	40.0%	H26
		都市公園の供用面積	16.4ha	H15	23.6ha	H21	25.0ha	H26
※参考 後期基本計画	めざす目標	適切な市街地の形成を図ります	指標名	総合計画策定時(H17)	後期基本計画策定時	目標		
			街路の整備率	28.5%	H15	34.8%	H20	40.0%
		都市公園の供用面積	16.4ha	H15	23.6ha	H20	30.1ha	H26

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	事務事業評価の結果						担当課
		H21決算額 (千円)	内、 一般財源 (千円)	目標 達成度	効率 性	事業内 容の 方向性	事業規 模の 方向性	
1 都市計画の推進	1 網野都市公園管理事業	16,669	15,077	○	○	見直し	維持	都市
	八丁浜シーサイドパークの維持管理							
	2 指定管理施設運営事業	30,264	30,156	○	○	維持	維持	都市
	峰山中ケ丘公園、峰山総合運動公園の維持管理業務について、指定管理委託							
	計	46,933	45,233					

CHECK

評価	①施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか	
	▲	理由
	◎ 予定以上に進んでいる	都市計画区域の再編にむけて検討を重ねたが、議会への提案が出来なかった。なお、網野都市公園の全面完成により平成22年度からの指定管理への移行事務を進めた。
	○ 予定どおり進んでいる	
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		
▲	②事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか	
	◎ 有効であった	適正な土地利用の推進施策の事業実態は、都市公園の管理運営のみである。その理由として、新市における都市計画区域の再編がまだ決定されていないことによる。
	○ おおむね有効であった	
	▲ あまり有効でなかった	
× 有効でなかった		

ACTION

改善	今後の施策展開をどうするか
	施策目的の達成のためには、「京丹後市まちづくり計画(都市計画マスタープラン)」の成案化と都市計画区域の再編決定に向けて取り組む必要がある。そのため、市民への説明や議会との調整を図っていかねばならない。なお、指定管理へ移行した都市公園については、その有効、適正利用にむけて管理者へ指導・助言を行う。また、適正な土地利用の基礎となる地籍調査について、調査・研究を進める。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
29-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般	08	04	03	01	01
細事業名		網野都市公園管理事業				

担当部局	建設部
担当課等	担当課長の氏名
都市計画・建築住宅課	小石原康夫
	担当者の氏名
	坪倉良樹

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市
	計画項目 (施策) ① 適正な土地利用の推進
	施策方針 1 都市計画の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 網野都市公園の適正な維持管理を行う。
事業の目的	事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入)
事業の目的	平成26年度事業の効果目標 適正な維持管理により、利用者へ安定したサービスを提供する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 都市公園として整備した八丁浜シーサイドパークの維持管理 (管理施設の保守管理業務、施設の維持管理修繕工事の実施)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 施設の適正な維持管理及び市民への周知により多くの市民に利用してもらえた。 H19 5,043人→H20 6,631人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	4,723	国庫支出金		
	12	362	府支出金		
	13	11,520	起債		
	16	55	分担金・負担金		
	27	9	その他	公園等使用料	1,592
			一般財源		15,077
事業費合計		16,669	合計		16,669

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">予約が増えてきている。 (サッカーのイベント等主体であったのが、ヨガ教室・グラウンドゴルフ等でも利用いただけるようになった。)</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている (少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	予約が増えてきている。 (サッカーのイベント等主体であったのが、ヨガ教室・グラウンドゴルフ等でも利用いただけるようになった。)	▲ 少し遅れている (少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			予約が増えてきている。 (サッカーのイベント等主体であったのが、ヨガ教室・グラウンドゴルフ等でも利用いただけるようになった。)	
	▲ 少し遅れている (少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成21年度は事業完了年度であったため削減は出来なかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	平成21年度は事業完了年度であったため削減は出来なかった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			平成21年度は事業完了年度であったため削減は出来なかった。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	平成22年度から指定管理者制度の導入
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	平成22年度から指定管理者制度の導入により、民間事業のノウハウを取り入れることで、よりよいサービスの提供を期待する。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
29-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般	08	04	03	05	01
細事業名		指定管理施設運営事業				

担当部局	建設部
担当課等	担当課長の氏名
都市計画・建築住宅課	小石原康夫
	担当者の氏名
	坪倉良樹

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市
	計画項目 (施策) ① 適正な土地利用の推進
	施策方針 1 都市計画の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 指定管理者に委託した施設の維持管理のため。
事業の目的	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 適正な維持管理により、利用者へ安定したサービスを提供する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 峰山途中ヶ丘公園、峰山総合運動公園 (管理施設の保守管理業務、施設の維持管理修繕工事の実施)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 維持管理により多くの市民に利用してもらえた。 H20 22,721人→H21 26,048人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	108	財源内訳	国庫支出金	
	12	53		府支出金	
	13	29,900		起債	
	14	203		分担金・負担金	
			その他	損害共済金	108
			一般財源		30,156
事業費合計		30,264	合計		30,264

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">適正な維持管理により、利用者へ安定したサービスを提供することにより、前年度比で利用者の増加があった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	適正な維持管理により、利用者へ安定したサービスを提供することにより、前年度比で利用者の増加があった。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			適正な維持管理により、利用者へ安定したサービスを提供することにより、前年度比で利用者の増加があった。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">諸施設において耐用年数が順次来ており維持管理や修繕にかかる費用であるため削減の余地なし。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	諸施設において耐用年数が順次来ており維持管理や修繕にかかる費用であるため削減の余地なし。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			諸施設において耐用年数が順次来ており維持管理や修繕にかかる費用であるため削減の余地なし。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	市の施設として維持管理していくため。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	平成22年度から八丁浜シーサードパークを指定管理者に委託するため。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

予算科目	08土木費	04都市計画費	03公園費
事業名	01 網野都市公園管理事業		
細事業名	01 網野都市公園管理事業		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
16,669千円	17,104千円	435千円	97.4 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

平成21年3月より全面供用開始を行った八丁浜シーサイドパーク（網野都市公園）の維持管理事業を実施した。

○施設維持経費 4,779千円
 （電気・水道代、修繕料、消耗品、原材料費等）

○施設管理経費 370千円
 （管理棟電話料、浄化槽法定検査手数料、ごみ持込処理手数料等）

○業務委託 11,520千円
 浄化槽維持管理（4棟） 2,221千円
 八丁浜シーサイドパーク管理 3,907千円
 芝生広場管理 2,710千円
 夏季臨時駐車場管理他 2,682千円

（参考）

芝生広場利用状況

利用件数	58件
利用人数	6,717人
使用料	101千円

駐車場使用状況

	浅茂川区域	小浜区域
利用台数	2,224台	736台
使用料	1,112千円	368千円

【事務事業評価】

公園の維持管理を適正に実施することができた。

【主な特定財源】

使用料 網野都市公園使用料 1,581千円
 使用料 都市公園占用料 11千円

事業所管課	建設部／都市計画・建築住宅課
-------	----------------

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	03公園費
事 業 名	05 公園等指定管理運営事業		
細 事 業 名	01 指定管理施設運営事業		
			決算書 P.288
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
30,264千円	30,267千円	3千円	99.9 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

指定管理施設（峰山途中ヶ丘公園・峰山総合公園）の管理費を支出した。

○修繕費	108千円
○指定管理施設建物共済保険、自動車共済	53千円
○峰山都市公園指定管理委託料 （峰山途中ヶ丘公園・峰山総合公園）	29,900千円
○峰山途中ヶ丘公園・峰山総合公園用地賃借料	203千円

（参考）

峰山都市公園利用状況

施設名	利用者数	利用料金
峰山途中ヶ丘公園	26,048人	478千円
峰山総合公園	29,360人	2,444千円

※ 峰山途中ヶ丘公園……多目的グラウンド、グラウンドゴルフ、遊具
峰山総合公園……野球場、サブグラウンド、テニスコート

【事務事業評価】

公園の維持管理を適正に実施することができた。

【主な特定財源】

諸収入 市有建物損害共済金

108千円

事業所管課	建設部／都市計画・建築住宅課
-------	----------------

平成22年度 京丹後市行政評価委員会 施策評価結果（案）

施策名	適正な土地利用の推進		担当部局
			建設部
評価結果	<p>1 施策目的について 都市計画マスタープランを策定し、適正な土地利用を推進するという目的が明確に示されており、わかりやすく記載されている。</p> <p>2 施策の達成度について 都市計画マスタープランが策定できていないため、施策の達成度を「少し遅れている」と記載していることについて、妥当であると評価する。</p> <p>3 事業構成の有効性について この施策の支柱である都市計画マスタープランが策定できていないため、事業構成の有効性について評価しにくい。</p> <p>4 今後の施策展開について</p> <p>(1) 都市計画マスタープランについて 都市計画マスタープランの必要性は理解できる。ただし、計画策定に当たっては、京丹後市が明るい未来に向けて発展していけるよう、市民の意見を踏まえ、柔軟な対応を図ることが必要である。</p> <p>(2) 指定管理者制度の運用について 都市公園施設の指定管理については、地元雇用を守るという視点も踏まえ、委託するべきである。</p>		